

指定管理者に係る令和7年度事業報告書及び令和8年度事業計画書について (彩 の 森 入 間 公 園)

指定管理者：彩の森入間公園パートナーズ（令和5年度～令和9年度）

1 令和7年度事業報告書の概要

（1）管理業務の実施状況

ア 彩の森の景観、原点回帰と環境に配慮した公園づくりとして、公園入口からの景観整備「ストリートビューの再構築」を行った。南園路に開園時10本植栽されていたベニバナトチノキは現在3本となり、透かし剪定及び整枝を行い、5本を新植した。

また、環境に配慮した公園づくりに、猛暑でも楽しめる「ロックガーデン」と公園の魅力・にぎわいづくりに上池の噴水をバックに写真撮影が楽しめるフォトスポット「ボート花壇」を設置した。

イ ウェルビーイングの場づくりとして、すべての人が参加できるスポーツ「モルックなかよし会」を開催。130人が参加した。

ウ 「彩 Sainomori Park Market」を1日開催にし、5月135店舗、来場者数約2,500人、11月158店舗、来場者数約3,000人。キッチンカーやペット関連イベントの実施し、ファンコミュニティづくりの推進を継続した。

エ 東日本大震災後から続けている防災イベント「第13回そなえパークの日」は、犬の同行避難をメインテーマに開催した。また、埼玉西部消防組合入間消防署の協力により、災害体験車、水消火器体験、防災衣着用体験等を行った。

（2）施設の利用状況（過去5年間）

有料施設なし

(3) 収支状況

(単位：千円)

項 目	決算額 a	予算額 b	決算額と予算額の比較		備考
			差額 c=a-b	差額の発生理由	
指定管理料	49,583	49,620	△37	エネルギー価格高騰への対応として増額した予算について、精算による減	
利用料金収入	1,450	700	750	テレビドラマ撮影など、行為許可料金収入による増	
その他収入	10,047	8,350	1,697	イベント開催時出店手数料（売上10%）による増	
収入合計	61,080	58,670	2,410		
人件費	21,102	23,126	△2,024	職員1名異動による減	
事業費	36,101	35,544	557	景観整備による委託費の増	
支出合計	57,203	58,670	△1,467		
収支差額	3,877	0	3,877		

[参考] 指定管理期間における収支決算額の推移（単位：千円）

項目	令和5年度	令和6年度
収入	60,352	61,458
支出	57,074	56,883
収支差額	3,278	4,575

2 令和8年度事業計画書の概要

(1) 基本的な考え方

- ア 彩の森の景観と環境に配慮した公園づくり
- イ 人生100年時代に向けたウェルビーイングの場づくり
- ウ 彩の森ファンコミュニティづくりの推進
- エ ひとりひとりが考えるこれからの防災・安全安心な公園

(2) 事業計画

- ア 他公園や他施設と連携した見どころを創出し、地域貢献
- イ 下池の環境づくり（新）
- ウ 北アメリカ産樹木の景観整備、武蔵野の森の保全（新）
- エ 草地、樹林地等の維持管理
- オ 園内の巡回、清掃、安全管理等
- カ 公園施設・設備の保守点検、補修

(3) 収支予算書

(単位：千円、%)

項 目	当年度予算額 a	前年度予算額 b	増減額 c=a-b	増減率(%) c/b*100	備考
指定管理料	49,620	49,555	65	0.1	
利用料金収入	700	770	△70	△9.1	
その他収入	8,350	6,808	1,542	22.6	イベント開催時の出店手数料（売上の10%）の増
収入合計	58,670	57,133	1,537	2.7	
人件費	23,126	22,540	586	2.6	
事業費	35,544	34,593	951	2.7	
支出合計	58,670	57,133	1,537	2.7	
収支差額	0	0	0	0	

(4) 執行体制【17名】

本 部

└─ 総括責任者（1）、副総括責任者（1）

所 長（1）

└─ 副所長〈維持管理責任者〉（1）
└─ 運営管理担当者（1）
└─ 広報・プロモーション担当（1）
└─ 管理運営スタッフ（5）
└─ 維持管理スタッフ（6）

(参 考)

○公園の概要

入間市の市街地に隣接し、米軍から返還された基地跡地に設置した公園で、2つの大きな池があり、その間をせせらぎが流れている。（供用面積15.0ha）

○開設年月日 平成10年4月1日